

村上伸次氏 講演会

Jリーグ元審判が語る！ レフェリーの現場とコミュニケーション

8/24 日

19:00～20:30

バロー文化ホール

(多治見市文化会館)

大会議室

受講料
無料

サッカーの審判はルールを知っていればできる？いえ、それだけでは試合が成り立ちません。

闘志むき出しで戦っている試合中だからこそ、正しいジャッジのために冷静さ、分析力、そして選手や他の審判員との信頼関係が必要です。そのためにコミュニケーションはなくてはならないもの。

今回、Jリーグの主審として試合を仕切ってきた村上さんから、審判をするうえで大切にしていたことを学びます。気持ちが昂っている選手や言葉の通じない外国人選手などとのコミュニケーション術は、日常のさまざまなシーンで活かせることでしょう。

レフェリーの仕事やJリーグ選手のエピソードについても、画像・映像を交えながら語っていただきます。話を聞けばサッカーがより身近になるはず！

定員

100人

申込み

受付中 QRコードからお申し込みください

問合せ

笠原体育館 ☎43-6285



©JFA

主催：多治見市 主管：多治見市スポーツ協会

講師 村上伸次 (むらかみのぶつぐ)

東京生まれ、岐阜県在住。2002年にサッカー1級審判員を取得し、以後Jリーグで審判員を務める。2008～2021年、プロフェッショナルレフェリー（スペシャルレフェリー）として契約。Jリーグの他にも2016年第95回天皇杯全日本サッカー選手権決勝の主審なども務め、主審としての活躍は600試合以上にも及ぶ。2021年のシーズンをもってレフェリーを引退し、現在は日本サッカー協会審判マネージャーとして後進の育成に力を注いでいる。